

平成 29 年度 半田商工会議所事業報告

I. 総 括 概 要

平成 29 年度のわが国経済は、全体として見れば、堅調に推移したものの、私どもの会員の大多数を占める中小・小規模企業では、深刻な人手不足の影響もあって、景気回復の実感が乏しいのが実情であった。

このような環境下ではあったが、当所は会頭が掲げた 5 つの方針のもと重点事業に積極的に取り組んだ。

事業方針 1「行動する会議所」では、正副会頭自らが出向き、2 地区において初の会員懇談会を開催し会員との意見交換を図った。また市長を始めとする市幹部との懇談会も重ねる中で従来の市政要望に加え、より具体的な施策展開を求めることが出来た。

事業方針 2「会議所の原点である中小企業の育成」では、提携金融機関と連携のもと「知多ビジネスプランコンテスト」、「食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ」を初実施。それぞれ 29 件の応募、40 社の出展を得て伴走型支援を推進した。また、OB 人材バンク創設に向けたニーズアンケートや視察とともに M&A セミナーも開催し、人手不足や事業承継対策に取り組んだ。

事業方針 3「会員ファースト」では、部会・委員会による会員参加型事業を実施すると共に、勉強会を設置し IOT を活用した新たな会員サービスへの研究を開始した。

事業方針 4「観光振興」では、55 万人が来場した第八回はんだ山車まつりに醸造部会、青年部、女性会が参画。応援企画として 51 店が参加し「ぐるポン・ぐるパス」事業も実施、購買促進を推進した。また「醸す博覧会」や「全国産業観光フォーラム」を通じ、『地域ブランド～醸す～』の PR 強化にも努めた。

事業方針 5「地域の活性化（まちづくり）」では、食談はんだ「まるごと CLACITY」、「まちなか醸す博」、「まちづくりステーション“カガシヤ”」、「半田運河 Canal Night」、「高校生チャレンジショップ」、「はんだ駅前ミュージックフェスティバル」などの諸イベントを開催し、賑わいの創出を推進した。

上記の他、地域経済の活性化を推進するため、商工会議所活動の中核である部会・委員会を中心に、半田市をはじめ関係機関との連携のもと、一丸となって重点事業・継続事業を邁進した。